



Step into the Edo period: Authentic traditional tie-dying
-Arimatsu: Elegant tie-dyes flowing in the wind.-

江戸時代の情緒に触れる
絞りの産地
～ 藍染が風にゆれる町 有松 ～

名古屋 有松

ARIMATSU NAGOYA

日本遺産 JAPAN HERITAGE

日本遺産は、文化財などを活用して、地域の歴史的の魅力や特色を物語(ストーリー)として国内外に発信し、地域活性化を図るものです。

有松は、日本らしさあふれる伝統の有松・鳴海絞や藍染を中心とした文化と東海道の古い町並みが残っており、それらを感じながら絞り染め体験もできる魅力的なストーリーが評価され、令和元年5月に日本遺産に認定されました。

名古屋駅から
電車で20分



アクセス

〈電車〉
名鉄名古屋本線「有松駅」下車すぐ
〈お車〉
名二環(名古屋第二環状自動車道)
有松ICから東へ約1分

GPS機能で
迷わず
行けるよ

名古屋の歴史と文化を紹介するスマートフォンアプリ
なごや歴史探検で有松の魅力を再発見!



構成文化財を音声ガイドの案内やスタンプを集めながら楽しく巡ることができます。
●日本語/English/中文(簡体字・繁体字)/한국



なごや歴史探検 検索

こちらからダウンロード

発行/有松日本遺産推進協議会 名古屋市教育委員会文化財保護室
TEL:052-972-3220

令和2年度文化資源活用事業費補助金

発行日: 令和3年3月



アプリをダウンロードして
山車庫の近くでナビの
ポイント(3D)をタップすると
CGの山車が現れるよ!

伝統ある有松の「山車」

無形民俗文化財(市)

有松には、「神功皇后車(西町)」、「唐子車(中町)」、「布袋車(東町)」の3輦の山車があります。
有松天満社の秋季大祭(10月第1日曜日)に
古い町並みの東海道を曳行される姿は、誠に勇壮で風情があります。

1 【神功皇后車】



ここに注目!
名古屋型の特徴を備えた山車

ここに注目!
高欄金具一部は有松天満社の紋「梅鉢」

神功皇后車は、西町が明治6年(1873)名古屋の御車大工に建造させた山車です。製作年は有松にある3輦の中で一番新しいものの、最も長い間、町内で曳かれてきました。からくり人形は、神功皇后、武内宿禰(すくね)、御幣を持った神官の3体が載っています。からくりは、日本書紀の神功皇后が朝鮮半島に出陣する際に、鮎を釣って神意を占ったという故事によるものです。お囃子が始まると、神功皇后が立ち上がり、武内宿禰と一舞した後、鮎を釣り上げ、大喜びします。

2 【唐子車】



ここに注目!
知多の影響を受けた2本の毛槍

ここに注目!
立派な螺鈿の輪掛

唐子車は、弘化4年(1847)までに東端村(南知多町)にて建造された山車で、明治8年(1875)に中町が購入したものです。車の裝飾部分は鉄刀木(たがやさん)、車輪を覆う輪掛には貝を散りばめた螺鈿(らでん)裝飾、幕の房には磨かれた赤サンゴが施されるなど贅を尽くした造りとなっています。からくり人形は、全て唐子で3体載っており、蓮台に乗った唐子が文字を書き上げると、別の唐子が体を大きく左右に動かして喜びます。

3 【布袋車】



ここに注目!
若宮まつりの祭車で市内に現存する3輦のうちの1輦

ここに注目!
霊獣を描いた大幕

布袋車は、延宝3年(1675)には玉屋町(中区錦)の祭車として江戸時代の名古屋三大祭「若宮まつり」に出されていた山車で、明治24年(1891)に東町が購入したものです。製作年は不明ですが、改修を経て、文政7年(1824)頃には現在の形になったといわれています。大幕は、市内では数少ない猩々緋に金糸の刺繍で霊獣を描いたもので、文化9年(1812)の製作です。からくり人形は、4体載っており、大将人形の布袋(七福神の一人)の前で唐子が文字書きを披露します。

一 絞りと発展した「町」

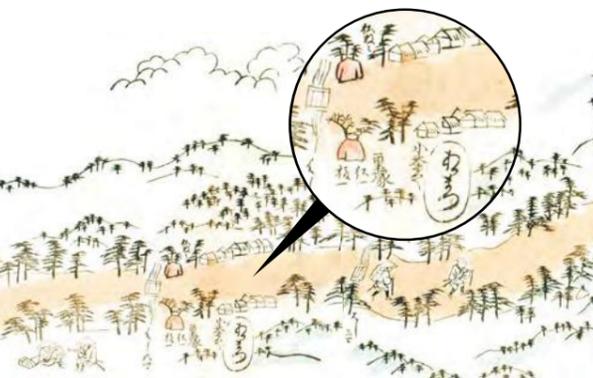
重要伝統的建造物群保存地区(国)

有松は、東海道の整備のため、慶長13年(1608)に尾張藩が諸役免除の特典を与え、竹田庄九郎はじめ8名が木綿の産地であった知多郡阿久比町から移住したのが始まりです。



有松の発展に欠かせない有松・鳴海絞は、庄九郎が慶長15年(1610)名古屋城築城工事にあたっていた豊後(大分県)の職人の豊後絞と郷手の手織木綿とを結び付け、手拭いに絞り染めを施して、旅人相手に商いをしたことに始まると伝えられています。天和元年(1681)には尾張藩第2代藩主徳川光友が第5代將軍徳川綱吉に將軍就任の祝賀として絞りを「九々利染」と称して献上したことから全国的に知られるようになりました。

有松は、天明4年(1784)に大火に見舞われ、大半の建物が焼失してしまいましたが、藩の援助もあり早期に復興を成し遂げ幕末から明治にかけて造られた防火を考慮した建物が今も残っています。



元禄3年(1690)頃の有松

受け継がれる技 「有松・鳴海絞」

伝統的工芸品(国)

江戸時代、水が清らかで、染め物の艶も他より優れていたため名物となった有松・鳴海絞。職人の手作業で絞られ、その技法は、100種類以上あったと伝えられており、400年たった今でも進化をつづけながら受け継がれています。

有松には、手軽に絞り染めを体験できる施設もあります。
●有松絞りまつり(6月第1土曜日・日曜日)



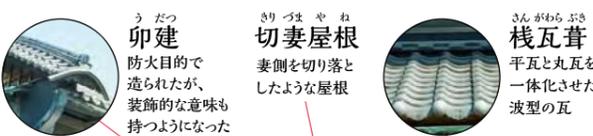
天明6年(1786)～寛政7年(1795)頃の絞り店

絞り体験施設

各施設へお問い合わせください

- 1 有松・鳴海絞会館・TEL:052-621-0111
 - 2 有松工芸 ……TEL:052-622-5881
 - 3 彩 Ayalrodori ……TEL:052-621-6820
 - 4 久野染工場 ……TEL:052-621-1041
 - 5 工房ゆはたや ……TEL:052-621-5758
 - 6 Studio Suzusan ……TEL:052-693-9624
 - 7 早恒染色 ……TEL:052-621-3705
- 自分だけの作品を作ってみよう!

《絞商の主屋》



うだつ
卯建
防火目的で造られたが、装飾的な意味も持つようになった

きりづねやね
切妻屋根
妻側を切り落としたような屋根

さんがらぶき
棧瓦葺
平瓦と丸瓦を一体化させた波型の瓦



つし2階
2階の高さが低い建物

むしこぼ
虫籠窓
採光と風通しを良くするための窓

こうし
格子

ぬりごめづり
塗籠造
防火目的で漆喰などを塗りこんだ壁

有松 MAP

ARIMATSU MAP



有松インター (Arimatsu Interchange)

至名古屋・四日市

名二環・302号 (Mei-Nikkan Expwy)

至名古屋

至名古屋・四日市

名二環・302号 (Mei-Nikkan Expwy)

有松天満社 1

至名古屋



有松一里塚
一里(約4km)ごとに
築かれた目印。
平成24年復元。

有松幼稚園

祇園寺 2

常夜燈

天明13年壬寅(1842)
春正月吉旦と
刻まれている

ガス灯

明治期の
ガス灯の名残

早恒染色 7

中町山車庫
唐子車庫 2

中濱家住宅
(中濱商店) 6

服部幸平家住宅倉
(井桁屋) 9

工務ゆはたや 5

有松山車会館 11

東町山車庫
布袋車 3

有松郵便局

愛知県
絞工業組合

有松工芸 2

Studio Suzusan 6

久野染工場 4

大樽ヶ根

小路の看板

至豊橋

至知立・豊橋

至豊橋

釜場の柱形が波型

アプリをダウンロードして音声ガイドに
番号を入力すると聞けるよ！

1 有松天満社

Arimatsu Temmansha Shrine

有松の氏神で、山車行事が奉納されている神社でもあり、菅原道真公を主祭神として七神が祀られています。寛政年間(1789~1801)に祇園寺境内から現在の場所に奉遷され、その後、文政7年(1824)に八棟造の社殿を建立したと伝えられています。山頂は、奉遷に先立ち、数千人より捧げられた詩歌文章等を埋納したことから「文章嶺(ふみのみね)」ともいわれています。



音声ガイド
31

2 祇園寺

Gionji Temple

宗派は曹洞宗。宝暦5年(1755)に、緑区鳴海町の円道寺より遷座建立されました。江戸末期、小田切春江が「尾張名所図会」に描いた状況がよく維持されています。



音声ガイド
22

3 小塚家住宅

House of Kozuka

【市指定文化財】小塚家は寛文年間(1661~1673)に創業した絞商で屋号は、山形屋。明治39年(1906)年頃まで絞商を営んでいました。主屋はつし2階建、切妻造、棧瓦葺で、1階は格子、2階は虫籠窓、黒漆喰の塗籠造で屋根両妻に卯建があるなど、幕末から明治中頃までの絞問屋の構成が良く残されています。主屋は文久2年(1862)頃建造。



音声ガイド
7

4 岡家住宅

House of Oka

【市指定文化財】岡家は、小田切春江(文化7年~明治21年(1810~1888))が描いた錦絵「丸屋文助」にも描かれています。昭和10年(1935)頃、岡家の当主が取得し、絞問屋岡兼商店として営んでいました。主屋はつし2階建、切妻造、棧瓦葺で、2階には虫籠窓がある塗籠造の建物です。改造も少なく、間口は有松の伝統的建造物の中で最大です。釜場は防火を目的に、壁、柱など全てを土壁で塗籠っており、柱形が波型に現れる特徴的な意匠となっています。主屋は江戸末期頃建造。

公開日:土曜日・日曜日(年末年始除く)
開館時間:10:30~15:30
入館料:無料



波型の軒裏

音声ガイド
8

5 竹田家住宅(竹田嘉兵衛商店)

House of Takeda (Takeda Kahei Shop)

【市指定文化財】竹田家は絞りの開祖竹田庄九郎家の一族で、寛保年間(1741~1743)に絞商を営んでいた竹田嘉七郎に始まると伝えられており、屋号は笹加。第14代将軍徳川家茂も訪れたとされる茶室「裁松庵(さいしょうあん)」もあります。主屋は江戸末期建造で、明治から大正にかけて増改築された土蔵群、洋間、門、塀などが現存しています。



音声ガイド
5

6 中濱家住宅(中濱商店)

House of Nakahama (Nakahama Shop)

【国登録文化財】中濱家住宅は江戸末期に創業したと伝えられている絞商であった山田与吉郎家住宅(屋号は山ヨ)の建物です。平成16年(2004)からは中濱家(中濱商店)の建物として使用しています。主屋はつし2階建、切妻造、棧瓦葺で、1階は木格子、2階は虫籠窓、黒漆喰の塗籠造となっています。主屋は明治中期頃建造。



音声ガイド
10

7 服部家住宅(井桁屋)

House of Hattori (Igetaya)

【県指定文化財】服部家住宅は寛政2年(1790)に服部家(大井げたや)から分家して服部孫兵衛家が創業した絞商で屋号は、井桁屋(いげたや)。敷地間口は有松最大で、主屋はつし2階建、切妻造、棧瓦葺で、1階は格子、2階は黒漆喰の塗籠造で屋根両妻に卯建をあげています。主屋は文久元年(1861)頃建造。



音声ガイド
2

8 棚橋家住宅

House of Tanahashi

【国登録文化財】棚橋家住宅は絞商であった服部七左衛門家(屋号は大井げたや)の建物です。主屋はつし2階建、切妻造、棧瓦葺で、1階は東半分を土庇、2階は一間(約1.8m)ごとの虫籠窓、白漆喰で塗籠られており、側面妻壁も塗籠となっています。昭和8年(1933)から棚橋医院として約50年間、その後住宅として使用されています。主屋は明治9年(1876)建造。



音声ガイド
11

9 服部幸平家住宅倉

Hattori Kohei Residence Storehouse

【県指定文化財】服部幸平家は服部孫兵衛家(井桁屋)の分家にあたり、屋号は井桁一(いげいち)。この倉は、明治中期の分家の際に譲り受けたものです。2階建、切妻造で、妻側を東海道に向けて建ち、1階、2階の2箇所に窓があります。外観は、白漆喰の塗籠造で、腰壁をなまこ壁としており、切石を2段に積んだ土台の上に建てられています。明治22年(1889)建造。



音声ガイド
3

10 有松・鳴海絞会館

Arimatsu-Narumi Tie-Dyeing Museum

貴重な絞り資料の展示や絞りの歴史・文化をビデオで紹介しています。絞り技術者による実演、絞り体験や商品を購入することもできます。
開館時間:9:30~17:00(実演~16:30)
入館料:無料
(2階展示室の見学:大人300円・小中高生100円)
休館日:年末年始・6月第1土曜日・日曜日
有松絞りまつり前後(臨時休館あり)



音声ガイド
21

11 有松山車会館

Arimatsu Dashi Float Museum

名古屋市の指定文化財である山車3輛(神功皇后車、唐子車、布袋車)を毎年入替で展示し、曳の様子ビデオ(英語対応)で見られるなどまつり文化を紹介しています。
開館時間:土曜日・日曜日・祝日
10:00~16:00(年末年始除く)
入館料:大人200円・高校生100円
(中学生以下無料)



音声ガイド
15



歴史ある古い町並みと
有松・鳴海絞の町
「有松」へようこそ



至豊橋
至知立・豊橋
大樽ヶ根